福井県坂井市：産官金パートナーシップで築くオール坂井脱炭素イノベーションプラン
～テクノポート福井を中心とした 地域エネルギー循環都市の実現～

環境省

事業計画の特徴

- 事業者向け太陽光導入においては、臨海工業地帯である**テクノポート福井に位置する事業者を優先採択**するとともに、余剰電力を近隣工場へ融通させた送電を行うことで、**製造業における脱炭素経営を推進し、テクノポート福井への産業誘致**につなげる。
- 本事業を契機に包括連携協定を発展させ、産官学金連携組織**「ゼロカーボンさかいコンソーシアム」を設立**。商工会、青年会議所と連携してネットワークを広げ、コンソーシアムの枠組みにおいて、**中小企業向けの省エネ診断、CO2排出量計算を支援**。
- 個人、事業者向け薪・ペレットストーブ及び事業者向けバイオマスボイラーの導入により、市内で生産されるC・D級木材約20,000㎥/年のうち約１割の活用が見込まれる。

※2030年度までに公共・公用施設の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロとする。

事業計画の概要（民間）　再エネ：9,480kW

取組（個人）	規模
薪・ペレットストーブの導入	• 40件
取組（事業者）	**規模**
太陽光発電設備の導入（PPA等）	• 41件 • 9,000kW
ソーラーカーポートの導入	• 12件 • 480kW
バイオマスボイラーの導入	• 2件
薪・ペレットストーブの導入	• 10件

事業計画の概要（公共）　再エネ：397kW

取組	規模
嵩浄水場跡地における太陽光発電設備の導入（PPA等）	• 1カ所 • 397kW

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
9,877kW	79,776 t-CO2	31.8億円	8.6億円	令和7年度 ～ 令和11年度

取組のイメージ

令和７年２月に、「ゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定」を市内19事業者と坂井市が締結

臨海工業地帯「テクノポート福井」